

2024年12月23日作成 Ver.1

《情報公開文書》

低線量 CT を用いた肺結節診断に対する人工知能の読影者に及ぼす影響についての検討

研究の概要

【背景】

CT で肺結節を指摘することは、肺がんを早期に診断するのに必要です。最近では技術の進歩により、1回のCT検査で数百枚の画像が得られるようになりましたが、それを読影する画像診断医の数は限られており、たくさんの枚数の画像を読影する医師の負担が問題となっています。人工知能の技術は医療の分野でも応用が進んでおり、画像診断においてもさまざまな技術が開発されています。

【目的】

人工知能技術を用いた画像診断支援ソフトがCTでの肺結節の指摘において有用かどうか評価します。

【意義】

人工知能を用いることにより、診断能の向上および、診断の精度を落とすことなく読影医の負担軽減につながり、より良い医療を提供することに貢献すると考えられます。

【方法】

読影医が単独で肺結節を検出した場合と、人工知能を用いた診断支援ソフトを併用した場合の両方での診断能を比較して、人工知能が読影医にどのような効果を及ぼすかについて検証します。

対象となる患者さん

対象となる患者さんは、研究機関の長の許可日から遡って、2023年09月04日までに低線量CT検査を行った肺結節を有する患者さんと、同期間にCT検査を行った肺結節を有さない患者さんです。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

- CT画像撮影時の年齢
- 性別
- CT画像：浦添総合病院で通常業務内で撮影されたCTで指摘された肺結節の性状および大きさ

外部への情報の提供方法

当院では既存情報のみを提供する機関として本研究に参加しています。
当院の機関長の許可が得られたら、使用する情報を個人を特定できない状態に加工して下記へ提出いたします。

<p>提供先：長崎大学病院 臨床腫瘍科 福島 文</p> <p>提出方法：当院放射線科画像サーバークラウド上から症例を選択し、匿名化したうえ外部記録媒体（SSD（solid state drive））等を用いて、実施計画書の担当者（提出先）へ送付いたします。</p> <p>あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。</p> <p>ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。</p> <p>あらかじめご了承ください。</p>	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2025年12月31日	
研究実施体制	
研究責任者	<p>所属：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 臨床腫瘍学</p> <p>氏名：芦澤 和人</p> <p>住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1</p> <p>電話：095（819）7624</p>
既存情報のみを提供する機関	浦添総合病院 放射線科／村山 貞之
長崎大学病院における情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
<p>【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】</p> <p>浦添総合病院 放射線科／村山 貞之</p> <p>住所：沖縄県 浦添市 前田 1 丁目 56 番 1 号</p> <p>電話：098-878-0231</p>	
<p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>浦添総合病院</p> <p>住所：沖縄県 浦添市 前田 1 丁目 56 番 1 号</p> <p>電話：098-878-0231（代表）</p>	